

人口ビジョンの位置づけ 国の『まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）』及び『都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について（通知）』に基づき、本市における人口の現状を分析するとともに、人口に関する市民の認識を共有し、今後、本市が目指すべき将来の方向と、人口の将来展望を提示するものです。【対象期間：令和27（2045）年】

1. 人口動向分析

① 総人口の推移

- 現久慈市域の人口は、高度経済成長期の昭和35（1960）年には、人口が約4.5万人と最大になって以降、盛岡市、東京圏等への人口流出によるものと思われる人口減少を経て、平成2（1990）年以降は人口減少が進み、平成27（2015）年時点の人口は国勢調査より約3.6万人となっています。

② 自然増減

- 合計特殊出生率は1.64（2008～2012年）と全国や岩手県平均より0.1～0.3ポイント高い水準で推移しているものの、母親世代の人口の減少、合計特殊出生率の低下により、一貫して出生数が減り続ける一方で、高齢化が進み死亡数が増加しています。

③ 社会増減

- 本市では、周辺町村からの転入が多いものの、この転入人口を盛岡市や東京圏等への転出人口が上回る状況となっています。特に若者の盛岡市や東京圏への転出が多くなっています。
- 特に10歳代後半から20歳代前半の年代は転出超過であり、一方、20歳代後半の年代は転入超過となっています。これらは、高校や大学への就学や就職に伴う転出、及び大学卒業後のUターン就職に伴う転入の影響が考えられます。

④ 就業状況

- 10～20歳代の就業者数の多い産業は、医療・福祉、製造業、卸売・小売業となっています。
- 10～20歳代の全就業者の半数以上が、上記3つの産業のいずれかに従事しています。

2. 目指すべき将来の方向

現状と課題を踏まえ、市民とともに的確な施策を戦略的に展開し、人口減少に歯止めをかけるためには、今後の取組において、次の4つの目指すべき将来の方向を共有することが重要です。

① 安定した雇用の創出

特に若い世代の東京圏等への人口流出に歯止めをかけるため、やりがいと生活を支える所得が得られる安定した仕事の創出を支援します。

② 結婚・出産・子育てへの支援

国民の希望出生率が1.8であることを踏まえ、次世代を担う若い世代が安心して働き、希望どおり結婚・出産・子育てをすることができる社会を実現します。

③ 久慈市への人の流れづくり

北限の海女や久慈秋まつりなど多くの観光資源や地域文化、夏でも冷涼な気候など久慈市の魅力を全国に発信し、久慈市に住み、働き、豊かな生活を送りたい人を増やし、その希望をかなえられる環境を実現します。

④ 災害からの復興と安心・安全なまちづくり

人口減少に伴い、労働力人口の減少、公共サービスの質・量の低下、年齢構成のアンバランスによる社会保障分野における現役世代の負担増大など、様々な問題が懸念されます。こうした変化に柔軟に対応し、効率的・効果的に持続可能な社会を構築するとともに、安心かつ安全に住み続けられる社会を実現します。

3. 人口の将来展望

当市では、次の独自推計により、令和27（2045）年に2.5万人程度の人口確保を目指します。

出生に関しては、結婚・出産・子育ての環境を整えることにより、「国の長期ビジョン」や「岩手県人口ビジョン」に示されているとおり、合計特殊出生率が令和12（2030）年に1.8、令和22（2040）年に2.07に向上することを目指します。

さらに、社会移動に関して、平成30年では、東京圏への転出超過は34人、特に15～29歳では73人の転出超過となっている状況です。この状況を改善するため、市内での雇用の創出等により、若い世代を中心としたUターン等を促進し、「国の総合戦略」や「岩手県人口ビジョン」を参考に、令和7（2025）年以降の対東京圏との社会増減0を目標とします。

上記の仮定により将来人口を推計すると、令和27（2045）年に24,841人となり、国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」と称す。）推計（23,950人）に比べて約900人の人口減少の抑制が図られることになります。なかでも、年少人口は463人、生産年齢人口は476人、それぞれ社人研推計に比べて人口減少の抑制が図られると見込まれます。

図1 将来人口の展望

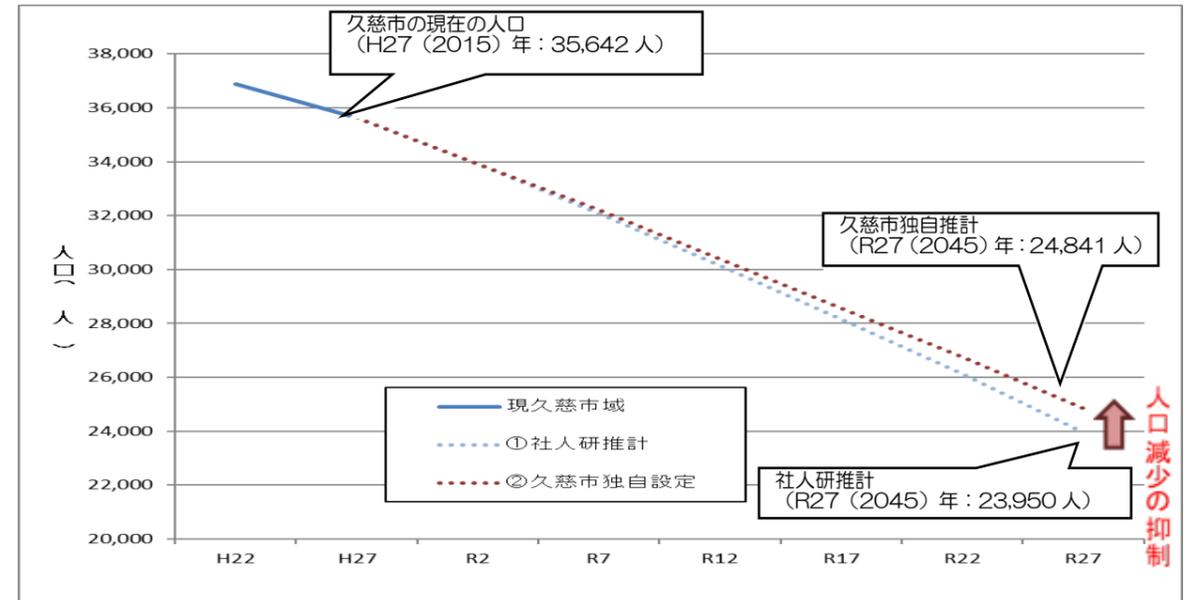
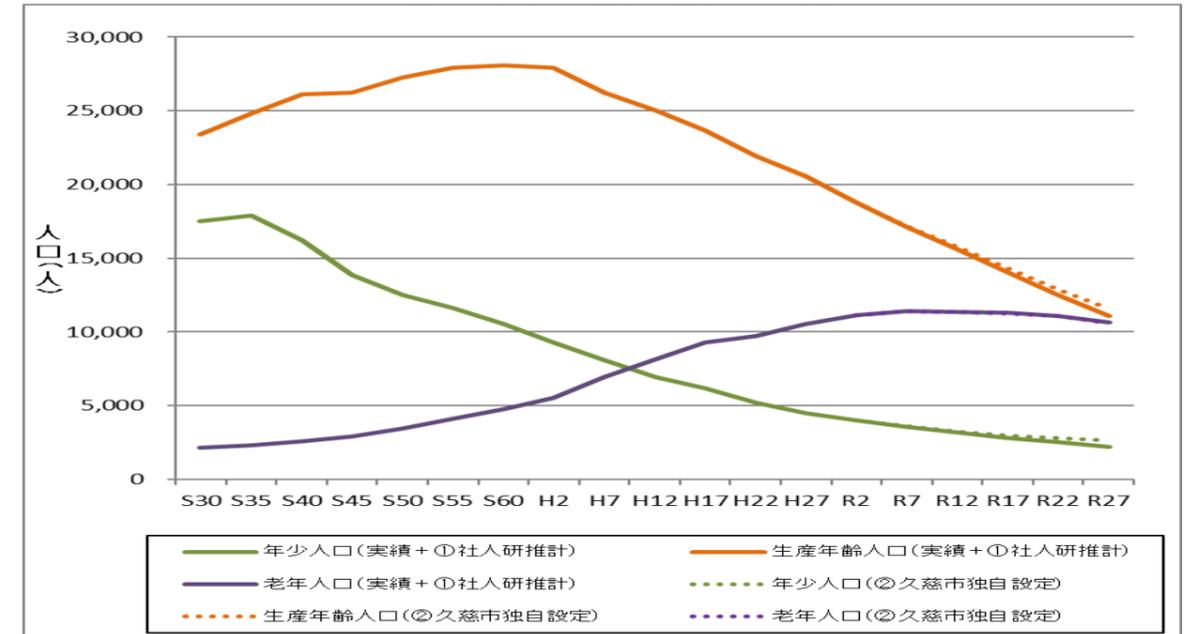


図2 年齢3区分別の将来人口の展望



第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

概要版 -あまちゃんのまちづくり戦略-

令和2年3月

趣旨及び位置づけ

『久慈市人口ビジョン』を基礎資料として、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立に向けて、短中期的な目標や方向性、具体的な施策を示すものです。国や岩手県が定める総合戦略の基本的な考え方や政策の方向性を基に、当市の特徴を勘案した計画とします。また、『久慈市総合計画』の理念や将来像と整合を図り、7つの重点戦略を補強・補完するものとして位置づけます。

計画期間

令和2(2020)年度～令和6(2024)年度

計画人口

令和6(2024)年度 32,500人程度

戦略を進めるうえで重視する視点

(1)SDGsの理念を踏まえた取り組み (2)Society5.0の実現に向けた技術の採用 (3)地域マネジメントの推進及び多様な主体との連携 効果検証の実施(PDCAサイクル) 久慈市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会による効果検証と市民への公表等

久慈市人口ビジョン

対象期間：令和27(2045)年

目指すべき将来の方向

①安定した雇用の創出

若い世代がやりがいと生活を支える所得が得られる安定した仕事の創出支援

②結婚・出産・子育てへの支援

若い世代が安心して働き、希望どおり結婚・出産・子育てをすることができる社会の実現

③久慈市への人の流れづくり

久慈市の魅力を全国に発信し、久慈市に住み、働き、豊かな生活を送りたい人を増やし、その希望をかなえられる環境の実現

④災害からの復興と安心・安全なまちづくり

効率的・効果的で持続可能な社会の構築と、安心かつ安全に住み続けられる社会の実現

人口の将来展望

令和27(2045)年 2.5万人程度

久慈市まち・ひと・しごと総合戦略 -あまちゃんのまちづくり戦略- の枠組み

<基本目標(数値目標)>

政策分野① 安定した雇用の創出

- 市の産業を担う人材の確保
○やりがいのある安定した雇用の創出

1人当たりの課税所得 2,742千円 ⇒3,000千円
市内総生産 1,329億円 ⇒1,227億円

- ◇施策1 地域資源を生かした産業の活性化
1-1 第1次産業の強化
1-2 地域産業の育成
◇施策2 雇用の場の創出
2-1 安定した雇用の場の創出
2-2 医療、介護福祉の需要増加に対応した労働力の確保
◇施策3 産業活動の担い手の確保
3-1 誰もが活躍できる就業・創業支援の充実
3-2 教育界と産業界が一体となったキャリア教育の推進

<主な重要業績評価指標(KPI)>

- ・農産物系統販売額 …24億1,000万円 [H30年度 24億5,176万円]
・久慈管内新規高卒者の管内就職率 …50.0%[H30年度 43.7%]
・新規高卒就職者3年経過後の職場定着率 …70.0%[H30年度 68.3%]

政策分野② 結婚・出産・子育てへの支援

- 希望に沿った結婚・出産・子育てが実現できる社会の構築
○子どもがのびのびと成長できる社会の構築

出生数 238人 ⇒219人

- ◇施策4 安心して子どもを産み育てることができる一貫した支援の充実と環境整備
4-1 安心して子どもを産み育てることができる支援の充実
4-2 子育て環境の整備の推進
◇施策5 結婚を希望する方への支援の充実
◇施策6 「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成

- ・3歳児検診受診率 …98.8%[H30年度 98.8%]
・成婚数…120組[H30年度 127組]
・学習状況が良好な児童生徒の割合 …小90.0%中75.0% [H30年度小86.8%中71.7%]

政策分野③ 久慈市への人の流れづくり

- 「ずっと住みたいまち」「戻ってきたいまち」の実現
○市外・県外、外国の方にも愛着のあるまちの実現

社会増減数 -266人 ⇒-63人
観光客数 62万人 ⇒82万人

- ◇施策7 若者・女性が住みたい、戻ってきたいと思える環境の整備
7-1 故郷の魅力を再確認するための取組の推進
7-2 誰もが集える場所づくり
◇施策8 関係人口の拡大及び移住促進・支援体制の整備
8-1 関係人口の創出とつながりの強化
8-2 移住促進に向けた支援体制の整備施策
◇施策9 交流の機会等を活用した久慈の魅力発信
9-1 体験型観光の推進
9-2 スポーツコンベンションの推進
9-3 観光客の受入体制及び情報発信力の強化

- ・移住相談件数 …50件[H30年度 50件]
・ふるさと納税リピート件数 …5,000件[H30年度 2,111件]
・教育旅行・キャンプ等受入数 …5,500人[H30年度 4,935人]

政策分野④ 災害からの復興と安心・安全なまちづくり

- 人口減少と少子高齢化に対応した持続可能な社会基盤の構築
○住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる生活環境の形成
○災害に強いまちづくり

市民満足度アンケート平均値 2.84 ⇒3.14 (地域づくり、医療福祉、交通、防災の施策)

- ◇施策10 計画的なまちづくりの推進
◇施策11 社会基盤の維持管理・更新と活用最適化
◇施策12 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり
12-1 地域医療体制の充実
12-2 安心して生活できる環境の整備
◇施策13 地域コミュニティの維持・再生
13-1 地域で支えあう体制づくり
13-2 地域文化の伝承と多様な人材の活躍の場づくり
◇施策14 災害からの復興支援の充実及び災害に強いまちづくりの推進
◇施策15 再生可能エネルギーの整備や環境の保全・形成

- ・中心市街地主要点における歩行者・自転車交通量 …5,764人/日 [H30年度 5,514人/日]
・ふれあいサロンの実施割合 …90.0%[H30年度 85.8%]
・固定価格買取制度における再生可能エネルギー発電設備の導入容量の実施割合 …28,000kW[H30年度 16,737kW]

久慈市総合計画

【重点戦略】いつまでも住み続けたいと思うまちづくり

平成28年度から10ヵ年計画

魅力ある仕事起しプロジェクト

出愛いと地元愛の育みプロジェクト

くじの魅力発信プロジェクト

日本一の地域づくりプロジェクト

安心・安全のまちプロジェクト

みんなに愛されるマイバス・マイレールプロジェクト

安心できる医療福祉のまちプロジェクト

補強・補完

当市では、合計特殊出生率の向上と対東京圏との社会増減0により、人口減少の抑制を図ります。また、地域課題の解決や将来的な移住に向けた裾野を拡大するため、継続的かつ多様な形でつながる関係づくりに取り組みます。